

## 市議会3月定例会

# 「総額は1715億円」

# 平成25年度予算を可決

平塚市議会は、平成25年2月21日から3月22日まで、30日間の会期で3月定例会を開催しました。

今定例会では、平成25年度の一般会計、特別会計および病院事業会計の予算案をはじめとする39議案が市長から提案され、これらの議案や施政方針などに対して、本会議における質疑や常任委員会による審査を行いました。

本会議最終日には、各会派が一般会計予算案に対して討論を行い、意見を表明。その後の採決の結果、平成25年度一般会計予算案は賛成多数で可決されました。

そのほか、本会議初日の提案後に即日採決を行った議案や、議員が提案した市議会に関する条例・規則の改正案を含め、本市議会は今定例会に提案されたすべての議案を原案どおり可決しました。

### 「財政見通し、防災、教育、三大事業」など

### 代表・総括質問で施政方針をただす

**平** 成25年の市議会が当初予算などを審議する3月定例会からスタートを切りました。初日には市長が平成25年度の施政方針として「子供たちが確かな夢を持てる平塚にしてい

くことを念頭に置き、持続可能な地域社会を築いていくためにまい進する」と表明しました。

続けて平成25年度予算について、「平塚市総合計画の着実な取り組み」「行政改革への取り組み」「決算等を踏まえた予算編成」「財源の積極的な確保」の4つを基本方針として編成したと説明がありました。予算の総額は一般会計や特別会計など1715億5100万円となり、前年度予算と比較して約1%、17億

7800万円の減額となりました。

◆ 本会議2日目から5日目にかけては各議員が代表質問、総括質問を行いました。代表質問では、各会派の代表が、市長が表明した施政方針や予算編成に対してさまざまな角度から質問を行いました。また総括質問においても、防災・減災対策をはじめとする市民の安心・安全を守るための取り組みや市役所新庁舎建設などの三大事業、いじめの問題や学校給食などの教育環境、「ツインシティ整備推進」といったテーマを巡って意見が交わされ、だれもが安心して暮らしていけるまちづくりの方向性をただしました。

### 今

定例会では、一般会計予算をはじめとする平成25年度当初予算が審議の対象となりました。

一般会計の歳入では、市税で約4億円の増収が見込まれるものの、次期環境事業センターの整備の終了に伴う国・県からの助成や市債などが減少しました。一方歳出は、三大事業などへの

投資的経費が2年連続で100億円を超えるものの、消防署大野出張所・消防訓練施設の整備が終了したことなどにより全体では減少しました。その結果、一般会計予算は平成24年度より約57億円、6・5%減少し826億6000万円となりました。

◆ 特別会計予算では、競輪事業特別会計で車券発売収入の増加が見込まれ、また介護保険事業特別会計で介護給付費が増加することなどから、特別会計全体の予算額は平成24年度と比較して約24億円、3・3%増加し748億1200万円となりました。

◆ 病院事業会計予算は、高度医療器械などの購入費や新棟の建設費の増加などから平成24年度と比較して15億5400万円、12・4%増加し140億7900万円となりました。

### 三大事業 「平成25年度の動き」

◆ 市役所新庁舎建設事業

事業費55億5094万円  
平成24年度に引き続き、第1期工事を行います。平成26年度に一部の使用が開

◆ 次期環境事業センター整備事業

事業費20億3490万円  
平成25年度で建設工事が完了し、10月からごみ焼却施設の運転を開始します。

◆ 市民病院整備事業

事業費9億3640万円  
建て替えを行う施設の解体が平成25年度内に完了し、新棟建設工事に着手します。



建設が進む市役所新庁舎

